

令和7年度 地域連携推進会議 議事録

事業所名	カーサ陽だまりの里（障害者支援施設）		
開催日時	令和7年10月23日(木) 10:00～11:20		
開催場所	カーサ陽だまりの里 セミナールーム1		
出席者	構成員	人数	備考
	事業所職員	7	管理者（理事長）、副管理者、サービス管理責任者 生活支援員、看護職員、管理栄養士、総務担当者
	利用者	1	
	利用者ご家族	1	姉
	地域の関係者	1	行政区長
	福祉に知見を有する方	1	基幹相談支援センター（センター長）
	経営に知見を有する方	－	
	市町村担当職員	1	八女市障がい者福祉係（主任主事）
次第	（１）開会挨拶（理事長）※地域連携推進会議の目的説明 （２）出席者の紹介 （３）法人実施事業の説明 （４）カーサ陽だまりの里 活動報告（日常生活の様子や余暇活動等について） （５）意見交換・質疑応答 （６）施設の見学 （７）閉会挨拶（副管理者）		
協議内容・意見等	（１）～（４）・（６）（７）略  （５）意見交換・質疑応答 （地域の関係者） 質問１：看護師の夜間連絡用の携帯電話は法人の物品ですか。それとも私有物品ですか。 回答１：法人から携帯電話を貸与し、看護師の課長へ連絡を行なっています。  質問２：地域との連携を図るためには、どのような取り組みが必要ですか。 回答２：施設周辺のゴミ拾い、地域の話し合い等への参加、行政区の高齢者を対象にした買物送迎支援などを行っていますが、今後は地域の方々を対象に施設見学会や交流会等を開催するなど、まずは施設の事を知って頂く機会を設けられればと思います。  （福祉に知見を有する方） 質問１：技能実習生の受け入れを行う中での難しさ等がありますか。 回答１：母国で日本語の勉強をして来日してきますが、どうしても言葉の壁はあるため、全てを理解できる訳ではありません。技術面についても、利用者様の個々の支援を職員指導と声掛けにより行なっています。早く仕事を覚えたいと頑張る一方、慣れてくると支援に雑さも出てくるため声かけは必要です。先日、実習生からの要望もあり、電動アシスト自転車を法人で準備し貸与しました。みなさん大変喜んでいました。また、この地域で生活もしていますので、皆様にも見守って頂けると有難いです。		

質問２：重度の利用者が多い中、本人様の希望や要望への対応に難しさはありませんか？

回答２：全てに応えることは難しい面もありますが、日々の支援の中で意思決定の見直しを行い、ケアガイドラインのチェック等も行なっています。言葉で意思を伝えられない利用者様に対しては、表情を見ながら基本的な所から対応を行ない、少しでも要望や希望に応えられるように日々努力しています。

また、Wi-Fi 環境は整備できていますので、利用者様も個別に利用されています。職員の業務環境についても ICT 化を進めており、眠りスキャンやバイタル等のタブレット入力など積極的に業務改善に取り組んでいます。

以上